Pesticide Science Society of Japan　日本農薬学会

PSSJ NEWS LETTER

http://pssj2.jp

2017年　第2号　平成29年5月20日

CONTENTS

■ 活動報告・各種会議議事録
■ 第42回通常総会
■ 会員異動
■ 学会関連カレンダー
■ 学会主催会議等の詳細
■ 補助金制度のご案内

平成28年度第4回常任評議員会議事録

日　時：平成28年12月10日（土）13:00～17:00
場　所：日本植物防疫協会　地下会議室
出席者：会長，副会長，常任評議員，第42回大会組織委員長　計15名（欠席1名）
議　事：

I.　平成28年度第3回常任評議員会議事録について確認した．

II.　経過報告および議事

1. 財務関係
   - 平成28年度収支の現状（1月1日から12月5日まで）について報告があった．
   - 平成29年度予算について検討した．
   - 大会で使用したパソコンの用途について検討した．
2. 編集委員会
   - JPS第42巻1号と，和雑誌42巻1号の発行予定について報告があった．
   - PDFダウンロード状況に関する報告があった．
3. 環境委員会
   - 平成28年度の活動状況（残留農薬分析セミナー，講師派遣，農薬理解促進WG等）について報告があった．
   - 「農薬について知ろう」ウェブサイトの進捗状況と次年度計画について報告があった．
   - Q&A集の進捗状況について報告があった．
4. 将来計画委員会
   - 活動状況について報告があった．
5. ホームページ委員会
   - 活動状況について報告があった．
6. 学会賞受賞者選考委員会
   - 第2回選考委員会（9月27日開催）において平成29年度日本農薬学会賞の候補者が選考され，評議員により承認済みであることが報告された．
   - 農学進歩賞に関する報告があった．
7. 学術会議関連
   - 5学会で構成される植物保護科学連合が共催した学術会議シンポジウム（12月3日）の報告があった．
   - 日本昆虫科学連合が国際昆虫学会を2024年に招致することが報告された．
8. 三学会および日植防協会関係
   - 平成28年11月17日に行われた三学会会長懇談会で議事内容として以下が報告された．
     ①平成29年度 日本農学賞について ②日本学術会議および日本植物保護科学連合について ③各学会の運営状況 ④事務局経費について ⑤法人化について ⑥事務打ち合わせでの協議内容の確認を行った．
   - 三学会の大会開催予定．
     日本農薬学会　平成29年3月5～7日（愛媛大学）
     日本植物病理学会　平成29年4月26～28日（いわて県民情報交流センター）
     日本応用動物昆虫学会　平成29年3月27～29日（東京農工大学）
9. 役員・評議員選挙関連
   - 平成28年11月8日に開催された第3回選挙管理委員会について報告され，次期役員選挙の結果を確認した．
10. 名誉会員，終身会員，顧問の推薦報告
    - 名誉会員，終身会員，顧問の候補者について検討した．
    - 名誉会員，終身会員，顧問の候補者の推薦に関する申合せについて確認した．
11. 農薬科学研究奨励金について
    - 平成29年度農薬科学研究奨励金の公募は11月30日に締め切り，審査を開始する旨報告があった．
12. 日本農学会
    - 平成29年1月20日に日本農学会評議員会が開催予

定である旨報告があった．

13. 公益法人　農学会
・10月7日に技術者会議が開催された旨報告があった．
14. 40周年記念事業関連
・記念事業収支経過報告があった．
・アーカイブ化の進捗状況について報告があった．
15. 第42回大会関係
・大会の準備状況について説明があった．
・大会前日の評議員会，編集委員会，常任評議委員会の会場・スケジュールについて検討した．
・ランチョンセミナーとして技術士試験対策セミナーの開催について説明があった．
16. 研究会等の協賛について
・平成29年2月28日（火）に江戸東京博物館ホール（東京都墨田区）で開催予定の第1回日本生物防除協議会シンポジウムを協賛することを承認した．
17. 入退会の報告（平成28年9月1日～平成28年11月30日）
・入退会が承認された．入会は正会員9名，学生6名．退会は正会員が15名．
18. その他
・内部監査の今後のあり方について検討した．
・口座引き落としシステムの改善について報告があった．

平成28年度第5回常任評議員会議事録

日　時：平成29年2月11日（土）13:00 ～ 17:00
場　所：日本植物防疫協会　地下会議室
出席者：会長，副会長，常任評議員，第42回大会組織委員長　計14名（欠席2名）
議　事：
I.　平成28年度第4回常任評議員会議事録の確認
II.　経過報告および議案
1. 財務関係
・平成28年度収支について報告があり，収支計算書の内容を確認した．
・平成29年度予算が提示され，その内容を検討した．
2. 編集委員会
・和雑誌42巻1号の掲載予定について報告があった．
・平成28年度の投稿状況について報告があった．
3. 環境委員会
・平成27年度の活動状況について報告があった．
・平成28年度の活動計画について説明があった．
4. 将来計画委員会
・活動状況について説明があった．
5. ホームページ委員会
・活動状況について説明があった．
6. 昆虫科学連合
・シンポジウムの開催準備に関する説明があった．
7. 日本農学会
・平成28年度第3回運営委員会（12月12日）および平成29年度第1回評議員会（1月20日）の報告があった．
8. 学術小集会関係
・平成28年度活動報告・収支報告について説明があり，平成29年度活動補助金申請について承認された．
9. 農薬科学研究奨励金について
・平成29年度公募から応募件数の増加について審議され，承認された．
10. 次期役員について
・次期の評議員，終身会員，顧問，名誉会員，常任評議員について検討した．
11. 技術士推進委員会について
・平成28年度5学会技術士育成推進委員会（平成29年1月30日）の報告があった．
12. 研究会などの後援について
・平成29年9月24日～28日に名古屋大学（名古屋市）で開催予定の第12回エコバランス国際会議を後援することを承認した．
13. 40周年記念事業関連
・記念事業収支経過報告があった．
・アーカイブ化の進捗状況について説明があった．
14. 第42回大会関係
・大会準備の進捗状況について説明があった．
・第42回大会の評議員会・総会等のスケジュール・内容・会場・招待者等について確認した．
・第42回大会の総会資料を検討した．
15. 第43回大会について
・第43回大会は秋田県立大学にて2018年5月25日（金）～27日（日）の日程で開催される予定である旨の説明があった．
16. 入退会の報告（平成28年12月1日～平成29年1月31日）
・入会が承認された．入会は正会員33名．学生16名．海外会員1名．団体会員1団体．退会は詳細を確認することが検討された．
17. その他
・終身会員のご逝去の対応について検討された．
・監事業務について検討された．
・各委員長の常評へのオブザーバー参加を評議員会に依頼する．
III.　平成29年度農薬科学研究補助金交付者選考二次審査

・平成29年度農薬科学研究奨励金（平成28年11月30日応募締切）への3件の申請に対する一次審査結果について報告があった．
・常任評議員会にて二次審査を実施し，3件に交付を行うことを決定した．

第198回常任編集委員会　議事要旨

日　時：平成29年1月10日（火）～（メール会議）
議　事：
1）　次期編集委員について
一度全員に退任していただいてから，改めて新委員を委嘱することとし，編集委員にその旨を連絡することとした．
2）　引用文献のスタイルについて
論文のタイトルを加えることについて審議した結果，異論はなかった．3月の編集委員会に諮ることとした．
3）　談話室と書評の執筆者について
引き続き常任編集委員に推薦を依頼した．
4）　ランチョンセミナー「委員長と話そう」について
昨年に引き続き，今年度の大会でも開催することにし，学会ホームページ，お知らせメール，ニュースレターで広く告知することとした．

第43回編集委員会議事録

日　時：平成29年3月5日（日）15時15分～ 16時15分
会　場：愛媛大学共通教育等2階　講23
出席者：40名
議　事：
1）　平成28年の掲載状況，投稿審査状況
41巻の掲載状況を確認した．（総会資料参照）
2016年はJPSに104編の投稿があり，国内からが18編，国外からが86編（中国，インド，パキスタン，サウジアラビアを含む13か国）であった．その内訳は，総説（4編），報文（89編），短報（7編），速報（3編），技術資料（1編）で，このうち掲載可が16編，審査中が9編であった．また，農薬誌には3編（報文3編）の投稿があり，報文1編を掲載した．
2）　論文pdfへのアクセス状況
インターネットによる論文pdfへのアクセス数は月平均10,300件で，昨年の約1.5倍であった．
3）　論文賞の推薦
22人の編集委員から9論文の推薦があった．
4）　投稿を呼びかける企画
「編集委員長と話そう」（第41，42回大会ランチョンセミナー）と植物化学調節学会大会（2016.10，高知）における投稿勧誘のポスター展示を行った．
5）　出版までのプロセスの変更
論文の受付から出版までのフローおよび剽窃チェック機構に関する説明が編集委員長からあり，著者校正と同時に編集事務局にも初校の確認依頼が来るようになったことが報告された．
6）　引用文献のスタイル変更
論文のタイトルは内容を示す重要な情報なので，引用文献に論文タイトルを加えてはどうかとの提案があった．
7）　投稿前のアドバイザー
「編集委員長と話そう」で投稿前に相談できる人がいないとの意見があったことから，常任編集委員会や常任評議員会での議論を踏まえて，部門長の名前をホームページに掲載して，投稿前に意見を聞けるようにしては如何かとの提案があった．
8）　学会誌の充実
編集委員に，英文総説のテーマ・執筆者や読み物企画の提案、談話室や書評の執筆者の推薦の依頼があった．
特集号（総説＋投稿論文，一般の投稿論文も合わせて掲載）を企画してはどうかとの提案があった．
9）　英文誌の出版委託
2015年から現在までに3社から打診があったことが報告された．3社の方針，JPSの分析結果，提案内容について説明があった．
10）その他
編集委員の交代があるため，昨年度の編集委員会で意見の一致を見た技術資料の審査についての考え方と報文から短報への変更の手続きについて，再確認した．

第43回評議員会議事録

日時：平成29年3月5日（日）16:30～17:30
場所：愛媛大学城北キャンパス共通講義棟2F講24
出席者：米山会長，三芳副会長，清水副会長，與語副会長，内田監事，寺岡監事，評議員51名，委任状41通（合計92名）

出席者が定足数に達していることを確認したのちに会則第29条に則り米山会長を議長として議事を進行した．

議事：

1. 平成28年度会務報告
・第42回通常総会資料および第43回評議員会資料に基づき，総務・編集・渉外・学会賞選考および40周年記念事業の各項目について委員長または担当常任評議員が報告を行い，質疑を受けたのち，異議なく承認された．

2. 平成28年度会計報告
   ・第42回通常総会資料に基づき，収支決算について担当常任評議員が報告を行ったのち，寺岡監事から収支決算の内容が的確であったとの会計監査結果が報告された．以上の報告について質疑を受けたのち，承認された．
3. 平成29年度事業計画
   ・事業計画案および収支予算案について担当常任評議員が説明を行い，質疑を受けたのち，原案の通り承認された．
4. 会長指名による役員の選出について
   ・会長により指名された副会長2名および評議員20名が承認された．また会長より顧問として指名を受けた安藤哲氏，宮本徹氏，中村幸二氏，佐々木満氏が承認された．
5. 名誉会員および終身会員の推薦について
   ・名誉会員として上路雅子氏，梅津憲治氏，米山勝美氏が推薦され，承認された．これを受け，第42回通常総会において承認を求める事とした．終身会員として安部八洲男氏，石井康雄氏，益子道生氏，本山直樹氏，佐藤元昭氏，谷中国昭氏が推薦され，承認された．
6. 規定の改定
   ・日本農薬学会基金規定の改定について米山会長より説明され，原案通り承認された．
   ・国際会議等派遣研究者応募規定の改定について米山会長より説明され，原案通り追認された．
   ・個人番号取扱い規定の制定について米山会長より説明され，原案通り追認された．
7. 第43回大会について
   第43回大会を平成30年5月25～27日に秋田県立大学（秋田県秋田市）において開催する事が承認された．
8. その他

第42回通常総会議事録

平成29年3月6日（月）午前10時00分より，松山全日空ホテル（愛媛県松山市）において，第42回通常総会が開催された．会則24条に則り米山会長を議長として議事を進行した．

議事：

1. 平成28年度事業報告および決算報告
   ・総務・編集・渉外・学会賞選考の各項目について各担当者が報告を行った．次いで，収支決算について会計担当者が報告を行ったのち，内田監事から収支決算の内容が的確であったとの会計監査結果が報告された．以上の報告について質疑を受けたのち，異議なく承認された．
2. 平成29年度事業計画および収支予算について
   ・事業計画案および収支予算案について各担当者が説明を行い，質疑を受けたのち，原案の通り承認された．
3. 名誉会員の承認について
   ・名誉会員として上路雅子氏，梅津憲治氏，米山勝美氏が推薦され，承認された．
4. 終身会員および顧問の推薦について
   ・第43回評議員会において終身会員6名および顧問3名が承認された旨報告があった．
5. 第43回大会について
   ・第43回大会を平成30年5月25～27日に秋田県立大学（秋田県秋田市）において開催する事が承認された．
6. その他
   ・40周年記念事業について，寄付事業の結果および今後の学会関連出版物等の電子化と国際学術交流支援の計画について報告され，承認された．

資料

I　会務報告

1. 総務関係報告

1）会員異動（平成28.1.1 ～平成28.12.31）

	平成27年12月31日現在	平成28年12月31日現在			増　減（△減）
		国　内	国　外	計	
名誉会員	20	19	1	20	0
終身会員	50	52	0	52	2
正 会 員	1070	1021	13	1034	△36[a]
学生会員	49	52	0	52	3[b]
維持会員（口数）	38（75口）	38（75口）	0	38（75口）	0（0口）
団体会員	83	81	0	81	△2
購読会員	33	11	22	33	0

[a] 入会者：93名，退会者：91名，会費未納者：38名
[b] 入会者：33名，退会者：23名，会費未納者：7名

2）会誌の発行

発行および頒布部数（平成28.1.1～平成28.12.31）

誌-巻-号	農薬誌-41-1	JPS-41-1, 2	農薬誌-41-2	JPS-41-3, 4
発行部数	1500	1500	1500	1450
会員頒布	1305	1305	1305	1305
一般購読	33	33	33	33
寄　　贈	24	24	24	24
広告・PR	10	10	10	10
事 務 用	2	2	2	2
保 存 用	5	5	5	5
計	1379	1379	1379	1379
残存部数	121	121	121	71

3）日本農薬学会第41回大会

（1）第41回大会：平成28年3月17日（木）に，くにびきメッセにおいて，総会，学会賞授賞式，受賞講演（奨励賞2題，業績賞（研究）1題，業績賞（技術）3題），特別講演会（2題）が行われた．翌3月18日（金）～19日（土）には島根大学において，一般講演（110題），シンポジウム（4件），ランチョンセミナー（8件）が行われた．参加者総数は464名であった．

（2）第41回通常総会：平成27年度会務報告，会計報告，会計監査報告および終身会員の推薦の報告が行われ，平成27年度事業報告および決算，平成28年度事業計画および収支予算(案)，日本農薬学会大会第42回大会（平成29年，愛媛県松山市，愛媛大学）の開催が承認された．また，平成28年度日本農薬学会賞（奨励賞，業績賞），論文賞の授賞式が行われた．(28.3.17)

4）役員会の開催

（1）第42回評議員会：平成27年度会務報告，会計報告が行われ，平成28年度事業計画および収支予算（案），日本農薬学会表彰規定の改定，終身会員，日本農薬学会大会第42回大会（平成29年，愛媛県松山市 愛媛大学）の開催が承認された．(28.3.16)

（2）常任評議員会：6回 (28.5.14, 7.30, 9.10, 12.10, 29.2.11, 3.5)

5）専門委員会など

（1）第42回編集委員会：(29.3.5)

（2）常任編集委員会：3回 ［28.5.2（メール会議），7.30, 29.1.10 (メール会議)］

（3）日本農薬学会賞受賞者選考委員会：1回（28.9.27），メール会議数回

（4）財務委員会

1. 財務に関する会議をメールにて数回行った．
2. 国際会議の渡航費補助申請の審査を行った．なお，渡航補助の一部は学会設立40周年記念事業寄付金より支出した．

（5）第42回大会組織委員会：8回（28年：4.8, 5.11, 9.12, 12.12, 29年：1.30, 2.14, 2.17, 3.3）

（6）将来計画委員会：メール会議数回

（7）環境委員会：2回（28.5.14, 12.17），メール会議数回，農薬理解促進ワーキンググループ2回（28.4.23, 12.17），メール会議数回

（8）HP委員会：メール会議数回

（9）農薬科学研究奨励金交付者審査会議：一次審査（28.12.21～29.1.22メール会議），二次審査（29.2.11）

（10）学術小集会委員長と常任評議員との懇談会：1回（28.9.10）

（11）三学会長懇談会：1回（28.11.17）

（12）日本植物防疫協会と三学会との懇談会：1回 (28.11.17)

6）技術士育成推進委員会

1回の委員会が開催された（29.1.30）．

2. 編集関係報告

1）「日本農薬学会誌」掲載原稿数および頁数

巻　号	掲載原稿数									頁　数
	投稿論文	解説	受賞論文	実験技術講座	ミニレビュー	シンポジア	読み物シリーズ	その他	計	
41-1	2[a]				10	6	6	4[b]	28	152[c]
41-2	1[d]	1	5	8		1	3	6[e]	25	126[f]
合　計	3	1	5	8	10	7	9	10	53	278

a: 報文2編.

b: JPS掲載論文の要旨2編，日本農薬学会設立40周年記念記事1編，書評1編.

c: この他に大会案内を掲載（30頁）.

d: 技術資料.

e: 日本農薬学会設立40周年記念記事1編，JPS掲載論文の要旨2編，談話室1編，書評1編，追悼1編.

f: この他に会則等を掲載（18頁）.

2）「Journal of Pesticide Science」掲載原稿数および頁数

巻　号	掲　載　原　稿　数								頁　数
	総説	報文	短報	速報	技術資料	受賞論文	その他	計	
41-1		4						4	24
41-2	1	3	1	1				6	40 （+5）[a]
41-3		2	2			5		9	56
41-4	1	3	3			1	3[b]	11	74 （+5）[a]
合　計	2	12	6	1		6	3	30	194（+10）

a: Instructions for authors.

b: Contents of Volume 41（JPS および農薬誌），Keyword Index, Author Index.

3）論文賞

候補1件を，学会賞受賞者選考委員会に推薦した．

4）その他

（1）受付論文数（2016年）：和文3編，英文104編（内，国内からの投稿18編）

（2）学会誌インパクトファクター（過去5年間の平均値）：0.685

（3）電子ジャーナル掲載論文へのアクセス状況：月平均約10,000件

3. 渉外・企画関係報告

1）セミナーの開催

（1）残留農薬分析セミナーの開催：近畿大学農学部（奈良県奈良市，28.11.19），明治薬科大学剛堂会館（東京都千代田区，28.10.20）．

2）農薬科学研究奨励金

農薬科学研究に対する研究奨励金を平成28年度は以下の2件の研究に対して交付した．

（1）林　昌平氏（島根大学生物資源学部）：*Bradyrhizobium* 属細菌が転写調節機構の変化によって除草剤2,4-ジクロロフェノキシ酢酸および2,4,5-トリクロロフェノキシ酢酸分解能を獲得する機構の解明

（2）甲斐建次氏（大阪府立大学大学院生命環境科学研究科）：青枯病クオラムセンシングシグナル分子の受容機構の解明

3）学術小集会

（1）農薬残留分析研究会（第39回）：イーグレひめじ（兵庫県姫路市）において開催．「食品における残留農薬等の輸出入検査の現状」をテーマとしてシンポジウム講演4題，特別講演1題，ポスター23題，企業セミナー4題の発表が行われた．参加者は223名であった．（28.10.13～14）

（2）農薬製剤・施用法研究会（第36回）：神奈川県立県民ホール（神奈川県横浜市）において開催．特別講演2題，技術研究発表12題，フォーラム1件，ポスター10題の発表が行われた．参加者は334名であった．（28.10.6～7）

（3）農薬環境科学研究会（第34回）：ルミエール府中市民会館（東京都府中市）において開催．「流域圏における農薬動態評価について―圃場から流域をつなげるモニタリングとモデリング―」をテーマとしてシンポジウム講演8題，特別講演1題の発表が行われた．参加者は93名であった．（28.11.10～11）

（4）農薬生物活性研究会（第33回）：東京農業大学（東京都世田谷区）において開催．「殺菌剤編」，「殺虫剤編」および「除草剤編」の3部構成として合計6題の講演と，特別講演1題が行われた．参加者は131名であった．（28.4.22）

（5）農薬デザイン研究会（第31回）：京都大学芝蘭会館（京都府京都市）において開催．第44回構造活性相関シンポジウムとの共催で「環境調和を志向した農薬デザイン」をテーマに招待講演7題と特別講演1題，スペシャルセッション1題，一般講演6題，ポスター48題が行われた．参加者は218名であった．（28.11.16～17）

（6）農薬レギュラトリーサイエンス研究会（第24回）：法政大学スカイホール（東京都千代田区）において開催．「農薬使用をめぐる最近の諸問題～マイナー作物に係る課題への対応、作物群での農薬登録について～」をテーマとして5題の講演，パネルディスカッション1題が行われた．参加者は137名であった．（28.11.22）

（7）農薬バイオサイエンス研究会（第13回）：島根大学松江キャンパスにおいて開催．「新アプローチによる生物制御剤ターゲットの探索」をテーマとして7題の講演が行われた．参加者は150名であった．（28.3.18）

4）学術小集会以外の研究会等

（1）構造活性フォーラム2016（協賛）：兵庫県淡路島市（28.6.24）

（2）第31回報農会シンポジウム（協賛）：東京都北区（28.9.14）

（3）第44回構造活性相関シンポジウム（後援）：京都府京都市

（28.11.16～11.17）
（4）平成28年度日本農学会シンポジウム：東京都文京区（28.10.8）（後援）
（5）第33回製剤と粒子設計シンポジウム（協賛）：長野県長野市（28.10.27～10.28）
（6）日本分析化学会関東支部機器分析講習会第3コース（協賛）：東京都千代田区（28.11.16）
（7）日本学術会議公開シンポジウム「生態系サービスと農業生産」（日本学術会議農学委員会植物保護科学分科会，植物保護科学連合主催）：東京都文京区（28.12.3）
（8）第1回日本生物防除協議会シンポジウム（協賛）：東京都墨田区（29.2.28）

5）国際会議等派遣研究者への渡航費補助

交付者：乾　秀之氏（神戸大），姜　凱氏（東京大），草島美幸氏（福井県大），桝谷貴洋氏（京都大），太田広人氏（熊本大）

4. 日本農薬学会賞受賞者選考委員会報告

1）奨励賞，業績賞（研究，技術）

評議員ならびに学術小集会委員長より推薦された奨励賞1課題，業績賞（研究）1課題，業績賞（技術）2課題について慎重公正なる選考を行った結果，次の4課題を各賞の候補と決定した．

【奨励賞】

永井孝志氏（農業・食品産業技術総合研究機構農業環境変動研究センター）
「種の感受性分布を用いた農薬の生態リスク評価に関する研究」

【業績賞（研究）】

橋床泰之氏（北海道大学大学院農学研究院）
「化学生態学に基づいた植物病原菌および脱窒細菌の代謝制御に関する研究」

【業績賞（技術）】

古谷　敬氏　町谷幸三氏　藤岡伸祐氏　中野元文氏　稲垣勝裕氏（日本農薬株式会社）
「殺ダニ剤「ピフルブミド」の開発」

木村教男氏　橋爪雅也氏　草場友之氏　田中創一氏（住友化学株式会社　住化テクノサービス株式会社）
「殺菌剤「フェンピラザミン」の開発」

2）論文賞

編集委員会より推薦された論文について慎重公正なる審査を行い，候補を決定した．

「Species differences in the developmental toxicity of procymidone—Remarkable variation in pharmacokinetics, metabolism, and excretion—」

Yoshitaka Tomigahara, Hirokazu Tarui, Hirohisa Nagahori, Kenji Sugimoto, Masayuki Mogi, Kazuhiko Nishioka, Satoshi Kawamura, Naohiko lsobe, Yasuyoshi Okuno and Hideo Kaneko（Environmental Health Science Laboratory, Sumitomo Chemical Co., Ltd., Mitsubishi Chemical Medience Corporation, Shin Nippon Biomedical Laboratories, Ltd.）
Vol. 40, No. 3, pp. 111–123（2015）

5. 平成29年度日本農薬学会奨励賞，業績賞および論文賞受賞者の決定

学会賞受賞者選考委員会で選考された日本農薬学会奨励賞，業績賞および論文賞各候補について，評議員の投票により授賞が決定した．

6. 平成29・30年度日本農薬学会役員選挙

日本農薬学会選挙管理委員会の管理のもと平成29・30年度日本農薬学会役員選挙を実施し，当選者を決定した．投票率は29.8％であった．会長から推薦され評議員会において承認された役員を加え，平成29・30年度日本農薬学会会長，副会長，監事および評議員が決定した．

7. 日本農学賞の受賞

平成28年4月5日に第87回日本農学会大会が開催され（東京大学山上会館），日本農学賞並びに読売農学賞授賞式において，安藤　哲氏（東京農工大名誉教授）が授与された．

8. 日本農学進歩賞の受賞

平成28年11月25日に第15回日本農学進歩賞授賞式が開催され（東京大学弥生講堂），謝　肖男氏（宇都宮大）が授与された．

9. 日本農薬学会設立40周年記念事業

本事業は，設立40周年記念行事の開催，国際学術交流の支援，農薬科学研究の奨励，農薬理解促進活動の推進，出版物の電子化等を行うことを目的としている．平成28年度は，若手の国際学術交流支援（国際学術交流費特別加算），農薬理解促進のためのウェブサイトの維持，ならびに出版物の電子化が実施された．

II　会計報告

収支計算書
平成28年 1月 1日から平成28年12月31日まで

（単位:円）

科　　目	予算額	決算額	差　異	備　考
Ⅰ　事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
会費収入	17,680,000	17,432,450	247,550	
正会員会費収入	8,800,000	8,626,000	174,000	
学生会員会費収入	100,000	114,000	△ 14,000	
海外会員会費収入	100,000	71,950	28,050	
団体会員会費収入	830,000	810,000	20,000	退会
購読会員会費収入	350,000	310,500	39,500	
維持会員会費収入	7,500,000	7,500,000	0	
会報刊行収入	900,000	1,063,800	△ 163,800	
頒布収入	50,000	51,200	△ 1,200	
広告料収入	200,000	140,000	60,000	広告減
著者負担金収入	650,000	872,600	△ 222,600	例年100万弱
事業収入	18,436,000	21,029,318	△ 2,593,318	
大会運営収入	7,520,000	8,476,300	△ 956,300	
学術小集会運営収入	10,243,000	11,994,518	△ 1,751,518	収入増
環境委員会　収入	673,000	558,500	114,500	
雑収入	108,000	177,533	△ 69,533	
預金利息収入	8,000	9,705	△ 1,705	
雑収入	100,000	167,828	△ 67,828	著作権関係
事業活動収入計	37,124,000	39,703,101	△ 2,579,101	
2. 事業活動支出				
会報刊行費支出	9,300,000	8,093,189	1,206,811	経費減
旅費交通費支出	140,000	22,800	117,200	
通信運搬費支出	10,000	8,718	1,282	
消耗品費支出	150,000	121,792	28,208	
印刷製本費支出	7,300,000	6,523,189	776,811	
編集費支出	1,100,000	775,220	324,780	
学会誌送料支出	600,000	641,470	△ 41,470	
総会・大会費支出	7,670,000	8,458,125	△ 788,125	
学術小集会費支出	11,480,000	10,679,331	800,669	
環境委員会支出	828,200	570,628	257,572	
ＨＰ管理費支出	800,000	866,175	△ 66,175	
学会賞関係費支出	650,000	699,161	△ 49,161	
学術交流費支出	300,000	365,850	△ 65,850	農学賞授賞式参加
国際学術交流費支出	300,000	500,000	△ 200,000	
農薬科学研究奨励金支出	1,000,000	1,000,000	0	
男女共同参画支援費	200,000	0	200,000	大会経費へ
選挙管理費支出	300,000	216,000	84,000	
事業運営費支出	2,900,000	2,774,530	125,470	
会議費支出	800,000	852,530	△ 52,530	
旅費交通費支出	2,100,000	1,922,000	178,000	
管理費支出	4,477,000	4,358,756	118,244	
旅費交通費支出	250,000	183,252	66,748	
通信運搬費支出	300,000	246,273	53,727	
消耗品費支出	160,000	142,566	17,434	
事務管理費支出	3,177,000	3,177,000	0	
印刷費支出	50,000	43,200	6,800	
外部監査管理費	130,000	151,874	△ 21,874	
雑支出	410,000	414,591	△ 4,591	
40周年記念事業支出	1,287,000	672,800	614,200	
事業活動支出計	41,492,200	39,254,545	2,237,655	
事業活動収支差額	△ 4,368,200	448,556	△ 4,816,756	
Ⅱ　投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
特定資産取崩収入	1,287,000	1,287,000	0	
40周年記念事業基金　取崩収入	1,287,000	1,287,000	0	
投資活動収入計	1,287,000	1,287,000	0	
2. 投資活動支出				
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	1,287,000	1,287,000	0	
当期収支差額	△ 3,081,200	1,735,556	△ 4,816,756	
前期繰越収支差額	3,767,964	3,767,964	0	
次期繰越収支差額	686,764	5,503,520	△ 4,816,756	

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲について
資金の範囲には、現金預金、未収金、仮払金、未払金、前受金及び預り金を含めている。
なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。
2. 次期繰越収支差額に含まれる資産および負債の内訳

（単位：円）

科　　目	前期末残高	当期末残高
現金・預金	9,719,309	10,183,068
未 収 金	1,945,429	540,100
仮 払 金	137,736	850,500
合　　計	11,802,474	11,573,668
未 払 金	1,708,560	0
前 受 金	6,325,950	6,065,600
預 り 金	0	4,548
合　　計	8,034,510	6,070,148
次期繰越収支差額	3,767,964	5,503,520

貸借対照表

平成28年12月31日現在

（単位:円）

科　　目	当年度	前年度	増　減
Ⅰ 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	10,183,068	9,719,309	463,759
現 金	319,413	464,897	△ 145,484
普通預金	6,054,894	8,861,212	△ 2,806,318
振替貯金	3,808,761	393,200	3,415,561
未収金	540,100	1,945,429	△ 1,405,329
仮払金	850,500	137,736	712,764
流動資産合計	11,573,668	11,802,474	△ 228,806
2. 固定資産			
特定資産			
積立調整基金	13,224,379	13,224,379	0
国際学術交流基金	16,885,042	16,885,042	0
寄付基金	8,764,117	8,764,117	0
40周年記念事業基金	500,000	1,787,000	△ 1,287,000
特定資産合計	39,373,538	40,660,538	△ 1,287,000
固定資産合計	39,373,538	40,660,538	△ 1,287,000
資産合計	50,947,206	52,463,012	△ 1,515,806
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0	1,708,560	△ 1,708,560
前受金	6,065,600	6,325,950	△ 260,350
預り金	4,548	0	4,548
流動負債合計	6,070,148	8,034,510	△ 1,964,362
負債合計	6,070,148	8,034,510	△ 1,964,362
Ⅲ 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	44,877,058	44,428,502	448,556
正味財産合計	44,877,058	44,428,502	448,556
負債及び正味財産合計	50,947,206	52,463,012	△ 1,515,806

正味財産増減計算書

平成28年 1月 1日から平成28年12月31日まで

（単位:円）

科　　目	当年度	前年度	増　減
Ⅰ 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	17,432,450	17,553,022	△ 120,572
正会員会費	8,626,000	8,703,000	△ 77,000
学生会員会費	114,000	96,000	18,000
海外会員会費	71,950	96,022	△ 24,072
団体会員会費	810,000	840,000	△ 30,000
講読会員会費	310,500	318,000	△ 7,500
維持会員会費	7,500,000	7,500,000	0
会報刊行収益	1,063,800	877,200	186,600
頒布収益	51,200	54,700	△ 3,500
広告料収益	140,000	220,000	△ 80,000
著者負担金益	872,600	602,500	270,100
事業収益	21,029,318	21,771,541	△ 742,223
大会運営収益	8,476,300	6,942,069	1,534,231
学術小集会運営収益	11,994,518	14,344,772	△ 2,350,254
環境委員会 収益	558,500	484,700	73,800
40周年記念事業収益	0	2,890,000	△ 2,890,000
雑収益	177,533	1,162,055	△ 984,522
預金利息収益	9,705	8,252	1,453
雑収益	167,828	1,153,803	△ 985,975
経常収益計	39,703,101	44,253,818	△ 4,550,717
(2) 経常費用			
会報刊行費	8,093,189	9,242,291	△ 1,149,102
旅費交通費	22,800	134,341	△ 111,541
通信運搬費	8,718	7,622	1,096
消耗品費	121,792	147,592	△ 25,800
印刷製本費	6,523,189	7,313,949	△ 790,760
編集費	775,220	1,014,688	△ 239,468
学会誌送料	641,470	624,099	17,371
総会・大会費	8,458,125	6,216,680	2,241,445
学術小集会費	10,679,331	13,374,890	△ 2,695,559
環境委員会	570,628	759,543	△ 188,915
ＨＰ管理費	866,175	2,229,135	△ 1,362,960
学会賞関係費	699,161	1,181,788	△ 482,627
学術交流費	365,850	286,700	79,150
国際学術交流費	500,000	427,931	72,069
農薬科学研究奨励金費	1,000,000	1,000,000	0
選挙関連費	216,000	0	216,000
事業運営費	2,774,530	2,838,207	△ 63,677
会議費	852,530	760,594	91,936
旅費交通費	1,922,000	2,077,613	△ 155,613
管理費	4,358,756	4,215,591	143,165
旅費交通費	183,252	24,950	158,302
通信運搬費	246,273	299,878	△ 53,605
消耗品費	142,566	150,897	△ 8,331
事務管理費	3,177,000	3,365,000	△ 188,000
印刷費	43,200	43,200	0
外部会計監査費	151,874	18,960	132,914
雑費	414,591	312,706	101,885
40周年記念事業費	672,800	2,890,000	△ 2,217,200
経常費用計	39,254,545	44,662,756	△ 5,408,211
評価損益等調整前当期経常増減額	448,556	△ 408,938	857,494
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	448,556	△ 408,938	857,494
2. 経常外増減の部			
当期一般正味財産増減額	448,556	△ 408,938	857,494
一般正味財産期首残高	44,428,502	44,837,440	△ 408,938
一般正味財産期末残高	44,877,058	44,428,502	448,556
Ⅱ 指定正味財産増減の部	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	44,877,058	44,428,502	448,556

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針
消費税等の会計処理は税込み方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高
特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科　目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
積立調整基金口	13,224,379	0	0	13,224,379
国際学術交流基金	16,885,042	0	0	16,885,042
寄付基金口	8,764,117	0	0	8,764,117
40周年記念事業基金	1,787,000	0	1,287,000	500,000
合　計	40,660,538	0	1,287,000	39,373,538

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳
特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

科　目	当期末残高	（うち指定正味財産からの充当額）	（うち一般正味財産	（うち負債に対応する額）
特定資産				
積立調整基金口	13,224,379	(0)	(13,224,379)	(0)
国際学術交流基金	16,885,042	(0)	(16,885,042)	(0)
寄付基金口	8,764,117	(0)	(8,764,117)	(0)
40周年記念事業基金	500,000	(0)	(500,000)	(0)
合　計	39,373,538	(0)	(39,373,538)	(0)

財産目録

平成28年12月31日現在

（単位:円）

貸借対照表科目			
(流動資産)			
	現金		319,413
	預金	普通預金	6,054,894
		三井住友銀行白山支店	3,467,424
		ジャパンネット銀行	250,711
		SMBC信託銀行	1,041,140
		三菱東京UFJ(製剤・施用法)	1,230,988
		三菱東京UFJ(レギュラトリー)	64,631
		振替貯金	3,808,761
	未収金		540,100
	仮払金		850,500
		総会・大会	850,000
		デポジット料金	500
流動資産合計			11,573,668
(固定資産)			
特定資産			
	積立調整基金		13,224,379
		三井住友銀行白山支店定期	13,224,379
	国際学術交流基金		16,885,042
		三井住友銀行白山支店定期	13,885,042
		ジャパンネット銀行定期	3,000,000
	寄付基金		8,764,117
		三井住友銀行白山支店定期	6,964,117
		SMBC信託銀行	300,000
		ジャパンネット銀行定期	1,500,000
	40周年記念事業基金		500,000
		三井住友銀行白山支店普通	500,000
固定資産合計			39,373,538
資産合計			50,947,206
(流動負債)			
	前受金		6,065,600
	正会員		6,000,000
	学生会員		26,000
	海外会員		19,600
	団体会員		20,000
	預り金		4,548
流動負債合計			6,070,148
負債合計			6,070,148
正味財産			44,877,058

日本農薬学会設立40周年記念事業　収支報告

科目	決算			予算
	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
1.事業活動収入				
法人・団体からの寄付	6,000,000			
個人からの寄付	1,827,000			
繰越金		2,890,000	0	614,200
事業活動収入計	7,827,000	2,890,000	0	614,200
2.事業活動支出				
40周年記念行事関係				
感謝状費		96,012		
謝礼・交通費		221,000		
懇親会費		272,000		
40周年記念特別加算				
国際学術交流費特別加算	3,150,000	166,564	500,000	500,000
農薬科学研究奨励特別加算		1,100,000		
40周年記念イベント関係				
農薬理解促進HP作成費		1,034,424		
出版物の電子化費			172,800	614,200
事業活動支出計	3,150,000	2,890,000	672,800	1,114,200
事業活動収支差額	4,677,000	0	−672,800	−500,000
3.投資				
40周年記念事業基金繰入	1,787,000			
40周年記念事業基金取崩			1,287,000	500,000
当期収支差額	2,890,000	0	614,200	0

III　会計監査報告

平成28年度日本農薬学会の事業報告および決算について監査の結果，的確であることを認めます．

平成29年2月17日

監事　　内田　又左衛門　印

寺岡　　徹　　印

IV　議事

1. 平成28年度事業報告および決算の承認

2. 平成29年度事業計画および収支予算（案）

1）会誌の発行：日本農薬学会誌　第42巻，第1号〜第2号
Journal of Pesticide Science誌　第42巻，第1号〜第4号

2）第42回大会の開催：29.3.6〜8，愛媛大学（愛媛県松山市）

3）日本農薬学会賞および論文賞の授与

4）専門委員会の開催

（1）編集委員会
（2）常任編集委員会
（3）日本農薬学会賞受賞者選考委員会
（4）財務委員会
（5）第43回大会組織委員会
（6）将来計画委員会
（7）環境委員会
（8）HP委員会
（9）農薬科学研究奨励金交付者審査会議（一次および二次）

5）セミナーの開催

（1）残留農薬分析セミナー2017を開催予定（2回程度，開催地および日時未定）
（2）農薬の安全性等に関する講師派遣を予定

6）学術小集会，講演会等の開催

（1）農薬残留分析研究会：第40回農薬残留分析研究会を大妻女子大学（東京都千代田区）において開催．（29.8.31〜9.1）

（2）農薬製剤・施用法研究会：第37回農薬製剤・施用法シンポジウムを農薬環境科学研究会と合同で静岡県コンベンションアーツセンター／グランシップ（静岡県静岡市）において開催.（29.10.5〜6）
（3）農薬環境科学研究会:第35回農薬環境科学研究会を農薬製剤・施用法研究会と合同で静岡県コンベンションアーツセンター／グランシップ（静岡県静岡市）において開催.（29.10.5〜6）
（4）農薬生物活性研究会：第34回シンポジウムを東京農業大学（東京都世田谷区）において開催.（29.4.21）
（5）農薬デザイン研究会：第32回農薬デザイン研究会を東京大手町（東京都千代田区）において開催.（29.11.17）
（6）農薬レギュラトリーサイエンス研究会：第25回シンポジウムを11月に開催予定.（開催地は東京都，詳細日時未定）
（7）農薬バイオサイエンス研究会: 第14回農薬バイオサイエンス研究会を愛媛大学（愛媛県松山市）において開催.（第42回大会との共催）（29.3.8）

7）農薬科学研究奨励金の交付

農薬科学研究に対する研究奨励金を平成29年度は以下の3件の研究に対して交付する予定である.

（1）綱干貴子氏（山形大学農学部）：アミン類を介したイネの傷害応答の解明
（2）田中啓司氏（近畿大学農学部）：Dieldrin 抵抗性イエバエ（OCR系）に対するGABAアンタゴニストの交差抵抗性とそれら化合物のGABA受容体に対する作用性解明
（3）徳永恵津子氏（名古屋工業大学大学院工学研究科）：新奇農薬デザインのツール：SF_5化合物を簡便に作る方法の開発とその生物活性評価

8）日本農薬学会設立40周年記念事業

学会関連出版物等の電子化，ならびに国際学術交流の支援を行う.

9）平成29年度収支予算

収支予算書
平成29年 1月 1日から平成29年12月31日まで

科　　目	29年予算額	28年予算額	増　減	備　考
Ⅰ　事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
会費収入	17,450,000	17,680,000	△ 230,000	
正会員会費収入	8,800,000	8,800,000	0	
学生会員会費収入	120,000	100,000	20,000	
海外会員会費収入	80,000	100,000	△ 20,000	
団体会員会費収入	800,000	830,000	△ 30,000	
購読会員会費収入	350,000	350,000	0	
維持会員会費収入	7,300,000	7,500,000	△ 200,000	会費減
会報刊行収入	1,060,000	900,000	160,000	
頒布収入	60,000	50,000	10,000	
広告料収入	100,000	200,000	△ 100,000	
著者負担金収入	900,000	650,000	250,000	例年100万円弱
事業収入	22,727,000	18,436,000	4,291,000	
大会運営収入	7,520,000	7,520,000	0	
学術小集会運営収入	12,255,000	10,243,000	2,012,000	増収
環境委員会　収入	2,952,000	673,000	2,279,000	増収
雑収入	180,000	108,000	72,000	
預金利息収入	10,000	8,000	2,000	
雑収入	170,000	100,000	70,000	
事業活動収入計	41,417,000	37,124,000	4,293,000	
2. 事業活動支出				
会報刊行費支出	9,200,000	9,300,000	△ 100,000	
旅費交通費支出	290,000	140,000	150,000	
通信運搬費支出	10,000	10,000	0	
消耗品費支出	150,000	150,000	0	
印刷製本費支出	7,000,000	7,300,000	△ 300,000	
編集費支出	1,100,000	1,100,000	0	
学会誌送料支出	650,000	600,000	50,000	
総会・大会費支出	7,670,000	7,670,000	0	
学術小集会費支出	13,000,000	11,480,000	1,520,000	経費増
環境委員会支出	4,033,200	828,200	3,205,000	経費増
ＨＰ管理費支出	900,000	800,000	100,000	
学会賞関係費支出	650,000	650,000	0	
学術交流費支出	800,000	300,000	500,000	増額
国際学術交流費支出	1,000,000	300,000	700,000	増額
農薬科学研究奨励金支出	1,500,000	1,000,000	500,000	増額
男女共同参画支援費	0	200,000	△ 200,000	大会経費へ
選挙管理費支出	0	300,000	△ 300,000	
事業運営費支出	2,900,000	2,900,000	0	
会議費支出	800,000	800,000	0	
旅費交通費支出	2,100,000	2,100,000	0	
管理費支出	4,260,000	4,477,000	△ 217,000	経費減
旅費交通費支出	100,000	250,000	△ 150,000	
通信運搬費支出	300,000	300,000	0	
消耗品費支出	160,000	160,000	0	
事務管理費支出	3,190,000	3,177,000	13,000	
印刷費支出	50,000	50,000	0	
外部監査管理費	160,000	130,000	30,000	
雑支出	300,000	410,000	△ 110,000	
40周年記念事業支出	1,114,200	1,287,000	△ 172,800	
事業活動支出計	47,027,400	41,492,200	5,535,200	
事業活動収支差額	△ 5,610,400	△ 4,368,200	△ 1,242,200	
Ⅱ　投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
特定資産取崩収入	500,000	1,287,000	△ 787,000	
40周年記念事業基金　取崩収入	500,000	1,287,000	△ 787,000	基金廃止
投資活動収入計	500,000	1,287,000	△ 787,000	
2. 投資活動支出				
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	500,000	1,287,000	△ 787,000	
当期収支差額	△ 5,110,400	△ 3,081,200	△ 2,029,200	
前期繰越収支差額	5,498,216	3,767,964	1,730,252	
次期繰越収支差額	387,816	686,764	△ 298,948	

10）その他

3. 名誉会員の承認および終身会員・顧問の推薦

1）名誉会員の承認

会則第7条1項により，上路雅子氏，梅津憲治氏，米山勝美氏を名誉会員に推挙する．

2）終身会員の推薦

会則第7条2項により，安部八洲男氏，石井康雄氏，益子道生氏，本山直樹氏，佐藤元昭氏，谷中国昭氏を終身会員に推薦し，評議員会において承認された．

3）顧問の推薦

会則第16条により，安藤　哲氏，宮本　徹氏，中村幸二氏，佐々木　満氏を顧問に指名し，評議員会において承認された．

4. 日本農薬学会第43回大会（平成30年）

第43回大会を平成30年5月25～27日に秋田県立大学（秋田県秋田市）において開催する．

5. その他

1）規定の改定

会　員　異　動

（平成28年12月1日～平成29年1月31日）

入会

正会員

西浦　愛子	山本　晴康	清宮はるな	秋山　嘉大
白水健太郎	稲垣　勝裕	山田　善造	佐竹　雄大
田中　創一	旭　美穂	福田　有希	澤田　敏彦
古川　裕貴	上田　洸平	下村　肇	榊　優子
永野　泰子	藤岡　伸祐	澁谷　直美	小林　陽子
矢萩　拓也	西ヶ谷有輝	永井　宏幸	瀬戸　信博
鈴木　丈詞	土屋　諒	木村　祐介	砂川　晶
石森　覚	新野　誠	田中祐太郎	岡本みなみ
北野　克和			

学生会員

長谷川琢也	髙田　瑞貴	永宮　光	岡部　諒太
松野　佑哉	能崎　薫	浅里　仁美	細井　昂人
近藤　寛也	広村　知也	山口　友輔	高橋　宗之
齊藤　大幹	堀内　愛実	胡　文倩	氏田　夢斗

海外会員

橋爪　雅也

団体会員

一般財団法人　雑賀技術研究所

（受付順）

退会

終身会員

林　　晃史　（逝去）　　浦　　康一　（逝去）

正会員

中島　典行	作田　庄平	加藤　貴央	森重　陽子
加嶋　崇之	堀江　清孝	朝間　由香	赤山　敦夫
樋口　浩司	今井　哲弥	石脇　智広	河上　強志
川名　貴	川田　修司	熊谷　友宏	難波　成任
西山　真弘	野田　博明	小川　邦彦	大川　郁子
中井由佳理	内山　次男	鵜飼　貞行	米倉　範久
中村　牧	金子　秀雄	佐藤　榮喜	廣野　公志
岩元　寛司	吉田　真也	鴛海　央	不破　朝成
西　康司	辻　敏昭	菅野　暉子	河野　裕之
鐘下　伊雄	間下大樹志	小石原　暉	服部　涼子
一丸　直哉	北原　芳徳	Jachmann, Markus	
村田　英明	芳井　篤	稲見　俊一	春日　博之
森谷　和幸	鈴木　久人	上川　徹	矢吹　芳教
松下　修門	大野　育也	三宅　泰司	栗山　光博
石川　賢吾	荒木　順一	丸山　友和	瀧澤　理恵
中川　博文	Rahman, M. M	三輪　俊夫	若林　孝俊
林　寛之	根本　香	折本　浩平	秋本真友子
木村　祐	浦尾　翔太	早川　浩臣	中西　希
白石　晃代	田中　隼紀	吉本　理子	高島麻都花
前田　慶	村木　優太	藤原　敏美	山下　真生
泉津　弘佑	小野崎保道		

学生会員

平野　和希

海外会員

大藤　雅章　　Kanapol Jutamanee

Eissa, Fawzy Ismail

Zidan, Nour El-Hoda Abd El-Wadood

団体会員

長崎三笠化学工業株式会社

学会関連カレンダー

太字は日本農薬学会が主催，共催，協賛，後援する会議等

2017年

8月

23日（水）～27日（日）第33回国際化学生態学／第9回アジア太平洋化学生態学合同会議

主　催：国際化学生態学会評議員会，アジア太平洋化学生態学会評議員会

会　場：龍谷大学深草キャンパス和顔館［〒612–8577 京都市伏見区深草塚本町67］
ＵＲＬ：http://www.2017isce-apace.jp/

31日（木）～9月1日（金）第40回農薬残留分析研究会
主　催：日本農薬学会，農薬残留分析研究会
会　場：大妻女子大学（千代田キャンパス）講堂［〒102–8357　東京都千代田区三番町12番地］
ＵＲＬ：http://pssj2.jp/committee/zanryu/zanryu40.html

9月
24日（日）～28日（木）第14回残留性有害物質に関する国際会議2017
主　催：ISPTS2017実行委員会
会　場：名古屋大学　IB館［〒464–8601　名古屋市千種区不老町］
ＵＲＬ：http://ispts2017.jp/

10月
5日（木）～6日（金）第35回農薬環境科学・第37回農薬製剤・施用法合同シンポジウム
主　催：日本農薬学会，農薬環境科学研究会，農薬製剤・施用法研究会
協　賛：農業食料工学会，日本雑草学会，粉体工学会，日本化学会，高分子学会，色材協会，会場：静岡コンベンションアーツセンター　グランシップ（東静岡）［〒422–8005　静岡県静岡市駿河区池田79–4］
ＵＲＬ：http://pssj2.jp/committee/environment/environment35.html

11月
17日（金）第32回農薬デザイン研究会
主　催：日本農薬学会・農薬デザイン研究会
会　場：大手町サンスカイルーム［〒100–0004　東京都千代田区大手町2丁目6番1号　朝日生命大手町ビル27階］
ＵＲＬ：http://pssj2.jp/committee/design/design32.html

22日（水）第24回農薬レギュラトリーサイエンス研究会
主　催：日本農薬学会，農薬レギュラトリーサイエンス研究会
共　催：法政大学植物医科学センター
会　場：法政大学スカイホール（市ヶ谷キャンパス　ボアソナードタワー 26F）
〒102–8160　東京都千代田区富士見2–17–1

29日（水）～30日（木）第45回構造活性相関シンポジウム
主　催：日本薬学会構造活性相関部会
共催・協賛等：日本化学会，日本農芸化学会，日本分析化学会，有機合成化学協会
会　場：茨城県県南生涯学習センター
ＵＲＬ：http://bukai.pharm.or.jp/bukai_kozo/jindex.html

学会主催会議などの詳細

第35回農薬環境科学・第37回農薬製剤・施用法合同シンポジウム

主　催：日本農薬学会，農薬環境科学研究会，農薬製剤・施用法研究会
協　賛：農業食料工学会，日本雑草学会，粉体工学会，日本化学会，高分子学会，色材協会，会場：静岡コンベンションアーツセンター　グランシップ（東静岡）［〒422–8005　静岡県静岡市駿河区池田79–4］（東海道本線　東静岡駅，南口から徒歩3分）
TEL: 054–203–5710（代表）
ＵＲＬ：http://pssj2.jp/committee/environment/environment35.html

1. プログラム（予定）
10月5日　13:00～17:30　特別講演，技術研究発表，ポスターセッション
（特別講演1）
海外の講演者に講演依頼中
（特別講演2）
「種の感受性分布（SSD）を用いた農薬の生態リスク評価」
永井孝志（農研機構）
17:30～19:30　懇親会

10月6日　9:00～16:30　特別講演，技術研究発表
（特別講演3）
「界面活性剤の性能と最近の研究動向」
小野大助（地方独立行政法人　大阪産業技術研究所）
（特別講演4）
「日米欧における環境リスク評価」
雑賀修（株式会社　サイカポーダ）

2. 参加申込み
1）参加申込み方法
所定の参加申込書に，所属，氏名（フリガナ），連絡先等の必要事項を明記の上，平成29年6月30日（金）までにE-mail（別紙1のExcelファイル形式のままhttp://pssj2.jp/committee/environment/environment35.html），

ファックスまたは郵送で下記にお申し込み下さい．
なお，発送事務等の省力化のため，会社・事業所・研究機関等の単位で代表者が取りまとめの上，一括してお申込み下さるようお願い致します． 大会運営の都合上定員（380名）になり次第，締め切らせていただきますのでお早目の申込みをお願い致します．申込み期限を過ぎますと，早期割引料金が適用されませんので，ご注意ください．

・参加申込書： 別紙1を参照ください
・申込み先：
竹本油脂（株）第四事業部研究開発部
第37回農薬製剤・施用法シンポジウム事務局
近藤 勝義（コンドウ カツヨシ） 宛
〒443–8611 愛知県蒲郡市港町2番5号
TEL: 0533–68–2113 FAX: 0533–68–1461
E-mail: seizai37@tkc.takemoto.co.jp

2） 参加費
（1）6月30日までに申込みの早期割引料金
1. 日本農薬学会及び協賛学会（協会）会員の場合
14,000円（内 研究会費8,000円，懇親会費6,000円）
2. 上記学会の会員でない場合：
17,000円（内 研究会費11,000円，懇親会費6,000円）
（2）7月1日～当日の参加申込みの通常料金
19,000円（内 研究会費13,000円，懇親会費6,000円）
（3）学生を対象とした特別割引
（申込み時期，上記学会の会員登録の有無を問いません）
8,000円（内 研究会費2,000円，懇親会費6,000円）
参加費には，2日目の昼食（弁当）も含みます．なお，1日のみの参加，および懇親会の参加有無にかかわらず，参加料金は一律（研究会費＋懇親会費）です（振込手数料につきましては別途負担となります）．

3） 参加費振込
参加申込み後は，下記振り込み口座に参加費をお早めに振り込み頂きますようお願い致します．また，一度振り込まれました分は返金できませんのであらかじめご了承下さい．ご入金確認後に，折返し参加確認および・参加費振込確認書を送付致します．別紙1にてお受け取り方法をご指定ください（E-mail，ファックスまたは郵送）．なお，参加申込み・入金確認書をもって領収書とさせていただきます．
振り込み先：三菱東京UFJ銀行 駒込支店（店番号061）
普通口座番号 0020365
農薬製剤施用法研究会（ノウヤクセイザイセヨウホウ ケンキュウカイ）

3. 技術研究発表・ポスターセッション申込み
技術研究発表・ポスターセッションは農薬製剤・施用法全般あるいは農薬環境科学に関するものとします．
技術研究発表：プレゼンテーション（15分）＋質疑応答（5分）
ポスターセッション：ショートプレゼンテーション（5分）の後，ポスター展示にて行います．
発表を希望される方は，希望発表形式（口頭あるいはポスター），演題，発表者，所属等を所定の申込み用紙に記入の上，平成29年6月30日（金）までにE-mail，ファックスまたは郵送で下記にお申込み下さい．
また，発表希望者は，［技術研究発表要領］（別紙3）により作成した発表要旨を平成29年7月31日（月）までにE-mailまたは郵送でお送り下さい．なお，技術研究発表・ポスターセッションを希望される方も別途参加申込みが必要となります．前項「2. 参加申込み」を参照ください．
発表申込書：別紙2 を参照ください
技術研究発表要領：別紙3 を参照ください
・送付先：
クミアイ化学工業（株） 製剤技術研究所
第37回農薬製剤・施用法シンポジウム事務局
池内 利祐（イケウチ トシヒロ） 宛
〒424–0053 静岡県静岡市清水区渋川100
TEL: 054–345–3163 FAX: 054–346–3284
E-mail: seizai37@kumiai-chem.co.jp

4. 宿泊先
事務局での宿泊手配は行っておりません．ご出席の皆様各自にてホテル等ご予約をお願い致します．

5. 事務局
［シンポジウム全般に関する問い合わせ］
（農薬製剤施用法研究会）
日本曹達（株） 小田原研究所 製剤研究部
第37回農薬製剤・施用法シンポジウム事務局
前川 祐一（マエカワ ユウイチ）
〒421–0412 静岡県牧之原市坂部62–1
TEL: 0548–29–0611 FAX: 0548–29–0631
E-mail: oda-formulation@nippon-soda.co.jp
（農薬環境科学研究会）
日本農薬（株） 研究本部 総合研究所 安全性・医薬ユニット
第35回農薬環境科学シンポジウム事務局
吉實 隆志（ヨシザネ タカシ）
〒586–0094 大阪府河内長野市小山田町345
TEL: 0721–56–9000 FAX: 0721–56–9090
E-mail: seizai-present@nichino.co.jp
［参加申込み・参加費に関するお問合せ］
竹本油脂（株）第四事業部 研究開発部
第37回農薬製剤・施用法シンポジウム事務局
近藤 勝義（コンドウ カツヨシ）

〒443–8611　愛知県蒲郡市港町2番5号
TEL: 0533–68–2113　　FAX: 0533–68–1461
E-mail: seizai37@tkc.takemoto.co.jp
［技術研究発表・ポスターセッションに関するお問合せ］
クミアイ化学工業（株）　製剤技術研究所
第37回農薬製剤・施用法シンポジウム事務局
池内 利祐（イケウチ トシヒロ）
〒424–0053　静岡県静岡市清水区渋川100
TEL: 054–345–3163　　FAX: 054–346–3284
E-mail: seizai37@kumiai-chem.co.jp

補助金制度のご案内

日本農薬学会では，会員の皆様の農薬科学研究の推進にお役立ていただく目的で，国際会議等海外渡航経費補助，研究会等開催経費補助，農薬科学研究奨励金の各種補助金制度を設けています．40周年記念事業の一環として，平成27年度から平成29年度の海外渡航費補助ついては，予算を増額して補助しています．ご希望の方は，ホームページの会員のページをご参照いただき，ご応募下さい．

発行所：日本農薬学会
〒114–0015　東京都北区中里2–28–10
一般社団法人日本植物防疫協会内
TEL: 03（5980）0281　　FAX: 03（5980）0282
E-mail: nouyaku@mocha.ocn.ne.jp